



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月28日

上場会社名 株式会社ソシオネクスト 上場取引所 東
コード番号 6526 URL <https://www.socionext.com/jp/>
代表者 （役職名）代表取締役会長兼CEO （氏名）肥塚 雅博
問合せ先責任者 （役職名）EVP兼広報IR室長 （氏名）中島 弘雅 TEL 045 (568) 1000
半期報告書提出予定日 2026年11月13日 配当支払開始予定日 2026年11月26日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	99,423	14.0	1,668	△55.7	2,240	△19.8	1,526	△25.9
2026年3月期中間期	87,209	△12.1	3,767	△75.8	2,792	△80.9	2,058	△82.2

（注）包括利益 2027年3月期中間期 1,406百万円（△35.8%） 2026年3月期中間期 2,190百万円（△80.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	8.70	8.65
2026年3月期中間期	11.70	11.63

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	179,116	130,345	72.8
2026年3月期	167,623	133,056	79.4

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 130,345百万円 2026年3月期 133,056百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2027年3月期	—	25.00	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	225,000	12.0	15,500	25.5	15,500	31.8	10,500	59.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	180,033,930株	2026年3月期	179,968,630株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	4,599,737株	2026年3月期	4,688,869株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	175,377,136株	2026年3月期中間期	175,857,770株

（注）当社は、株式報酬制度「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入しております。期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託口（2027年3月期中間期 506,300株、2026年3月期 506,300株）」及び「株式付与ESOP信託口（2027年3月期中間期 616,568株、2026年3月期 705,700株）」が保有する当社株式が含まれております。また、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2027年3月期中間期「役員報酬BIP信託口」506,300株及び「株式付与ESOP信託口」637,093株、2026年3月期中間期「役員報酬BIP信託口」33,200株及び「株式付与ESOP信託口」46,275株）。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

当社グループにおいては、A Iをはじめ、新たなサービス・アプリケーションの登場やS o C設計の複雑化、S o Cエコシステムの進化を背景にカスタムS o Cの需要が拡大しており、引き続き、注力分野であるオートモーティブ、データセンター／ネットワーク、インダストリアル／スマートデバイス分野を中心に多くの大型商談を獲得しております。それら商談の開発は順調に進捗しており、N R E売上への寄与に加え、S o Cの量産も段階的に開始され、製品売上への寄与も着実に進んでおります。また、先行開発では、日々進化する半導体エコシステムにおいて最新の技術を活用するために、グローバルなエコシステムパートナーとの協業によるプロセステクノロジー、チップレットや先進的なパッケージング技術の開発、最新設計ツールの実用化及び開発プラットフォーム構築にも積極的に取り組んでおります。

なお、当社グループの事業セグメントは、「Solution SoC」ビジネスモデルで開発するS o Cを主とする単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)における世界経済は、米国の経済政策をめぐる不確実性や中国経済の内需低迷等に加え、中東における軍事衝突やウクライナにおける戦争の長期化等の地政学的リスクにより、エネルギー・原材料供給への懸念が高まる等、先行きの不透明な状況が継続しました。一方、A I需要の更なる拡大を背景に、データセンター向けインフラへの投資等が拡大しました。為替相場は、当中間連結会計期間の第1四半期に円安が進行しましたが、第2四半期に円高に転じました。

当中間連結会計期間の売上高は99,423百万円(前中間期比14.0%増)となりました。当社グループの売上高は主に、量産段階で受領する製品売上と、設計開発に要する費用を段階的に受領するN R E売上から構成されております。製品売上については、車載向け及び産業機器向けが増加したことにより、77,551百万円(前中間期比10.2%増)となりました。N R E売上については、データセンター／ネットワーク分野を中心に増加し、21,827百万円(前中間期比32.9%増)となりました。

[売上高]

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
製品売上	70,357	77,551
N R E売上	16,428	21,827
その他	424	45
売上高合計	87,209	99,423

当中間連結会計期間における売上原価は54,232百万円(前中間期比19.8%増)となり、製品構成の変化の影響により、製品粗利率は30.1%(前中間期比5.6ポイント減)となりましたが、売上高の増加により、売上総利益は45,191百万円(前中間期比7.8%増)となりました。下期以降の北米データセンターや北米車載向けの新規量産品の立上げに伴う試作関連に加え、先行開発のための開発投資等を高い水準で継続していることにより、研究開発費は33,825百万円(前中間期比16.8%増)となりました。この結果、販売費及び一般管理費は43,523百万円(前中間期比14.0%増)となり、営業利益は1,668百万円(前中間期比55.7%減)となりました。為替差益を含む営業外収益を加え、経常利益は2,240百万円(前中間期比19.8%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は1,526百万円(前中間期比25.9%減)となりました。

当中間連結会計期間の1米ドルの平均為替レートは159.4円、前中間期比13.4円の円安となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は123,909百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,090百万円増加しました。これは主に、下期以降に本格的な出荷を予定している北米車載向け及び北米データセンター向け製品の生産開始に伴い棚卸資産が増加したこと、並びに車載向けの製品売上増加に伴い売掛金が増加したことによるものであります。一方、新製品に係るレチクル等の有形固定資産の取得による支出及び配当金の支払等により、現金及び預金が減少しました。

固定資産は55,207百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,403百万円増加しました。これは主に、獲得した商談の製品開発に係るレチクル、テストボード、設計開発環境の増強及びI Pマクロ等の投資によるものであります。

す。

この結果、総資産は179,116百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,493百万円増加しました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は46,542百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,022百万円増加しました。これは主に、量産品の製造委託に伴う買掛金の増加、コミットメントライン契約に基づく借入実行による短期借入金の増加及び顧客から履行義務を充足する前に受領した対価による流動負債のその他に含まれる契約負債の増加等によるものであります。

この結果、負債合計は48,771百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,204百万円増加しました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は130,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,711百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益1,526百万円及び配当金の支払額4,412百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は72.8%となり、前連結会計年度末から6.6ポイント減少しております。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は22,757百万円となり、前連結会計年度末に比べ21,784百万円減少しました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは4,753百万円の支出(前中間期は6,603百万円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益2,240百万円、減価償却費10,068百万円、売上債権の増加額8,891百万円及び棚卸資産の増加額13,472百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは20,555百万円の支出(前中間期は10,954百万円の支出)となりました。これは主に、獲得した商談の製品開発に係るレチクル、テストボード及び設計開発環境の増強等の有形固定資産の取得による支出15,113百万円及びI Pマクロ等の無形固定資産の取得による支出5,435百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3,505百万円の収入(前中間期は9,629百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額4,412百万円があるものの、短期借入金の増加額8,100百万円によるものであります。

当社は、コミットメントラインの借入枠を30,000百万円から、顧客の需要増加に伴う運転資金の増加、世界景気の減速及び地政学リスクの高まり等に対応して、コミットメントラインの借入枠を2026年7月から20,000百万円増額し、総額50,000百万円にしました。当中間連結会計期間末においては、同契約に基づく借入実行残高は8,100百万円となりました。これは、下期以降に本格的な出荷を予定している北米車載向け及び北米データセンター向け製品の生産に伴う棚卸資産の増加に対応するための短期借入であります。

今後、北米車載向け及び北米データセンター向け製品の売上拡大に伴う更なる棚卸資産の増加もあり、必要な短期運転資金も増加していくものと見込んでおります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、上期の実績為替レートが当初業績予想の前提為替レートに比べて円安で推移したこと等により、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が、2026年4月28日に公表した業績予想を上回る見込みです。なお、2027年3月期の第3四半期以降の為替レートは1米ドル130円を前提としております。

また、配当については、当初予定通り年間で1株当たり50円00銭から変更しておりません。

詳細については、本日(2026年10月28日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

[連結] 業績予想の修正 (単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 年間配当金 (円)
通 期	前回予想	215,000	14,000	14,000	10,000	50.00
	今回予想	225,000	15,500	15,500	10,500	50.00
	差 異	10,000	1,500	1,500	500	0.00

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

（1）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,541	22,757
売掛金	36,875	45,702
有価証券	5,000	-
製品	9,957	4,456
仕掛品	21,128	40,101
未収入金	4,422	2,174
前渡金	2,036	1,756
前払費用	3,077	5,117
その他	783	1,846
流動資産合計	122,819	123,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,222	2,269
機械装置及び運搬具（純額）	91	71
工具、器具及び備品（純額）	21,158	30,037
建設仮勘定	408	80
有形固定資産合計	23,879	32,457
無形固定資産		
技術資産	13,236	15,277
その他	1,906	2,067
無形固定資産合計	15,142	17,344
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	4,624	4,229
その他	1,159	1,177
投資その他の資産合計	5,783	5,406
固定資産合計	44,804	55,207
資産合計	167,623	179,116

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,789	18,888
短期借入金	-	8,100
未払金	3,950	2,964
未払費用	5,613	5,671
未払法人税等	1,553	750
その他	5,615	10,169
流動負債合計	32,520	46,542
固定負債		
株式給付引当金	126	192
資産除去債務	356	371
その他	1,565	1,666
固定負債合計	2,047	2,229
負債合計	34,567	48,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,020	33,037
新株式申込証拠金	3	11
資本剰余金	33,930	33,947
利益剰余金	74,131	71,245
自己株式	△10,773	△10,520
株主資本合計	130,311	127,720
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,745	2,625
その他の包括利益累計額合計	2,745	2,625
純資産合計	133,056	130,345
負債純資産合計	167,623	179,116

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	87,209	99,423
売上原価	45,274	54,232
売上総利益	41,935	45,191
販売費及び一般管理費	38,168	43,523
営業利益	3,767	1,668
営業外収益		
受取利息	218	212
為替差益	-	390
その他	11	10
営業外収益合計	229	612
営業外費用		
為替差損	1,131	-
その他	73	40
営業外費用合計	1,204	40
経常利益	2,792	2,240
税金等調整前中間純利益	2,792	2,240
法人税、住民税及び事業税	397	321
法人税等調整額	337	393
法人税等合計	734	714
中間純利益	2,058	1,526
親会社株主に帰属する中間純利益	2,058	1,526

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	2,058	1,526
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	132	△120
その他の包括利益合計	132	△120
中間包括利益	2,190	1,406
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,190	1,406

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,792	2,240
減価償却費	7,914	10,068
受取利息及び受取配当金	△218	△212
固定資産除却損	138	7
売上債権の増減額(△は増加)	△8,881	△8,891
棚卸資産の増減額(△は増加)	△11,186	△13,472
仕入債務の増減額(△は減少)	5,793	3,174
その他の資産の増減額(△は増加)	△2,117	△643
その他の負債の増減額(△は減少)	△297	3,640
その他	2,240	219
小計	△3,822	△3,870
利息及び配当金の受取額	218	212
法人税等の支払額	△2,999	△1,095
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,603	△4,753
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,049	△15,113
無形固定資産の取得による支出	△4,924	△5,435
その他	19	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,954	△20,555
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	8,100
リース債務の返済による支出	△221	△224
ストックオプションの行使による収入	31	30
新株式申込証拠金の払込による収入	4	11
自己株式の取得による支出	△5,000	-
配当金の支払額	△4,443	△4,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,629	3,505
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	19
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△27,159	△21,784
現金及び現金同等物の期首残高	72,837	44,541
現金及び現金同等物の中間期末残高	45,678	22,757

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、「Solution SoC」ビジネスモデルで開発するS o Cを主とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、「Solution SoC」ビジネスモデルで開発するS o Cを主とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。